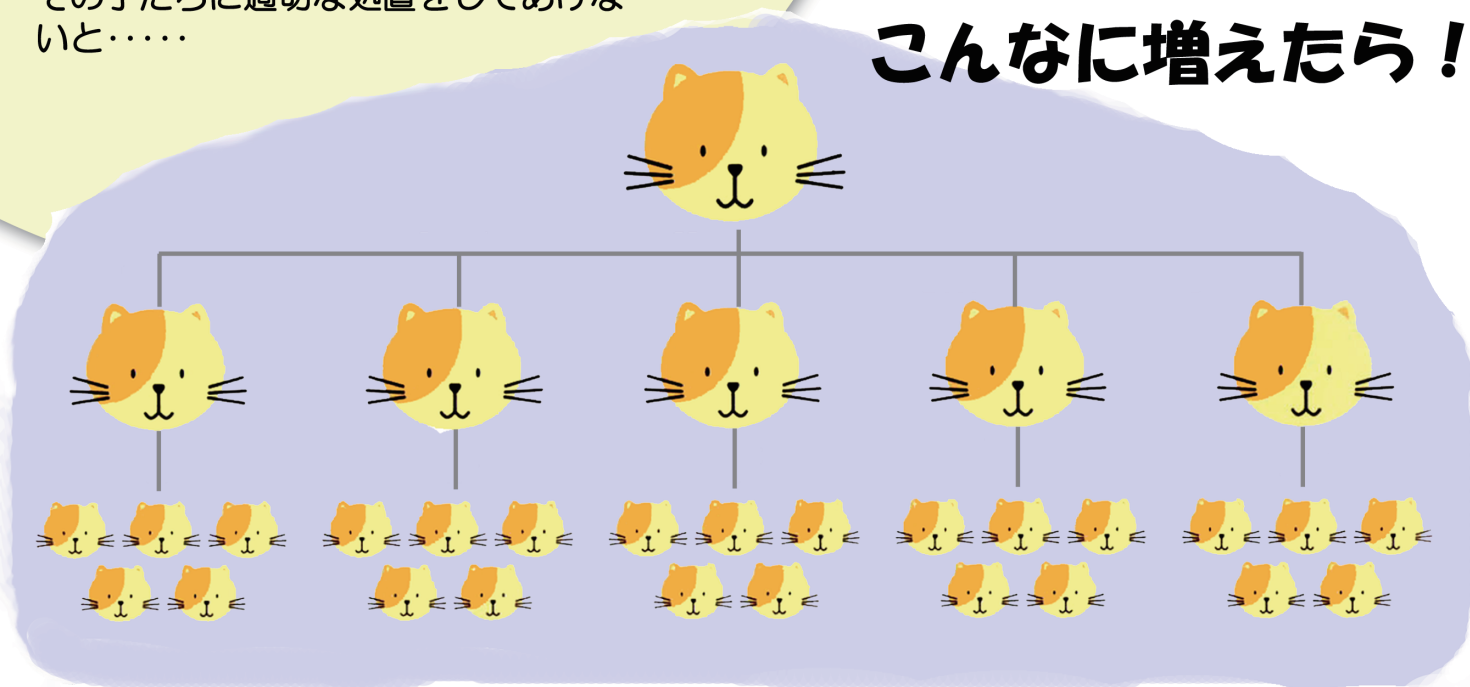


ねこは 年3回以上の 妊娠が可能です

通常、ねこが妊娠・繁殖可能になる月齢は生後6～9か月で、年に3回以上の妊娠・出産が可能です。1回の出産で5匹産まれると言われていいますからその子たちに適切な処置をしてあげないと……

ねこの 不妊手術の (避妊手術・去勢手術) ススメ

どうしよう?? こんなに増えたら!



「きっと貰い手が見つかる(だろう)」といった甘い考えは通用しません。

動物指導センターに引き取られて処分されたり、捨てられてしまってそのままホームレスねこになって、カラスなどの外敵に襲われたり、飢えや病気、自動車事故で死んでしまうなど、悲惨な結果が待っているだけです。

不幸なねこを
減らす!

望まない妊娠を
防ぐ!

① 不妊手術

② 室内飼い

(不妊手術をしていない場合は、
オス・メスを分ける)



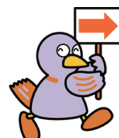
彩の国

埼玉県動物指導センター

〒360-0105 埼玉県熊谷市板井 123 TEL.048(536)2465 E-mail: k362465@pref.saitama.lg.jp

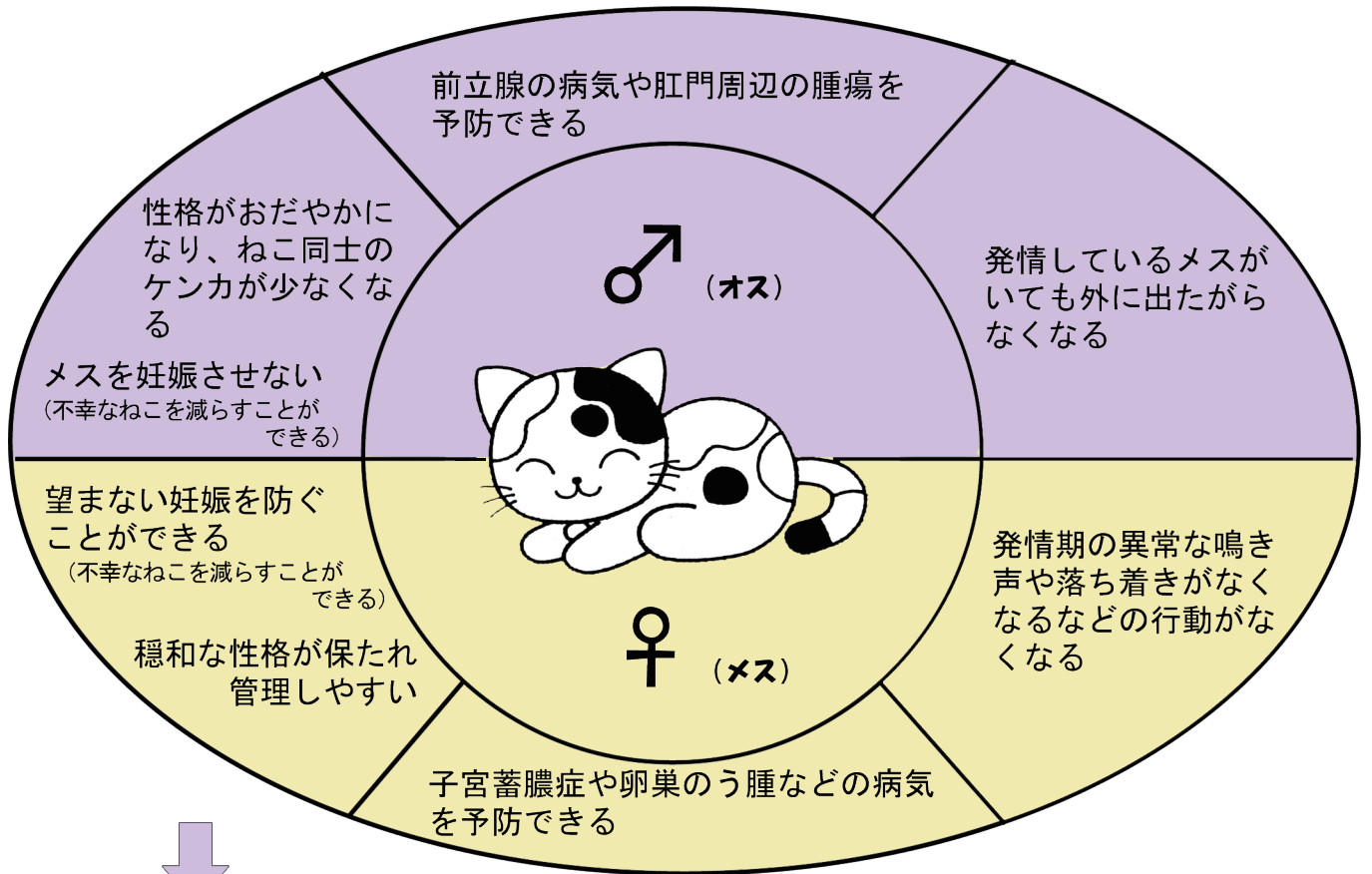
埼玉県動物指導センター 南支所

〒338-0813 さいたま市桜区在家 473 TEL.048(855)0484 E-mail: k36246a@pref.saitama.lg.jp



© 埼玉県2005

不妊手術（避妊手術・去勢手術）の効果



不妊手術をしても

外飼いと危険がいっぱい！

さらにオススメ！

→ 室内飼い

外界のさまざまな危険からねこを守ることができます。



リーフレット「ねこの室内飼いのススメ」を参照してください

→ マイクロチップ

家から外に出てしまっても、見つかる可能性が高まります。



リーフレット「マイクロチップのススメ」を参照してください

ミニコラム

「（野良ねこが）かわいそうなのでエサをあげている」と言う人がいます。「エサをあげる人がいるのでねこが増えて糞や尿などで困っている」と言う人がいます。

都市化が進むにつれて、さまざまなトラブルが生まれています。「かわいそう」と思う心は大切です。でも、もしかしたら不幸なねこを増やす結果につながっているかもしれません。

ねこを優しく見守ってくれる人を増やし、ねこが幸せに暮らすことのできる方法を考えてみませんか？